

バリアフリーの美容室で おしゃれを提供

「気軽に来てくださいな」



「誰でも、いつまでも
おしゃれを楽しんで」
と今野さん

かみきりや

〒015-0047 秋田県由利本荘市藤崎字新山沢39 TEL.0184-22-3634

車いすに座ったまま洗髪できるなど
店内のあちこちに配慮が見える。



美容と福祉の両立



スロープのある入り口に、大きく開く親子ドア。昨年11月、由利本荘市に車いすに乗ったまま利用できるバリアフリーの美容室がオープンした。

店主は同市で美容師として30年以上の経験を持つ今野光子さん。介護士の資格も持ち合わせており、不自由を抱えた人たちでも無理なく利用できるようにと、トイレや洗面台など、随所に配慮が施されたこの美容室のオープンのきっかけは、20年以上も前にさかのぼる。

「福祉施設に出張でカットに行ったときの事です。その日は13人の利用者さんを2時間でカットしなければいけないスケジュールでした。注文は“短くして”というものだけで、十分に会話もできず、終わった後も、介護の経験も資格もない身では車いすを押して部屋に連れていくことさえできませんでした。美を提供するべき自分がただ機械的に切ることしかできなかった。このむなしさは、今でも忘れられません」。

いつまでもおしゃれを楽しんで

勤めていた美容室の廃業後から本格的に介護を学び始め、ホームヘルパーの資格を取得してからは、訪問介護の仕事と出張美容サービスを行いながら経験を積んだ。

その後、閉店した美容室の道具一式を譲り受けたことで開業を決意。そこで、思い描いたのは、もちろん美容と福祉の両立であった。この構想を具体的な事業計画として形にするため、よろず支援拠点や地元商工会に相談し、集中的な支援を受けたことで経営に関する知識も学んだ。

“かみきりや”と名付けられたお店には、今野さんの人柄と技術に魅せられたリピーターもあり、夢のスタートは上々だ。今年の6月には、車いす向けの着付けを学ぶ予定で次なるサービスの提供も視野に入れている。

「店を開いて終わりじゃない」というよろず支援拠点からのアドバイスをいつも大切にしています。いくつになっても、どんな方でもおしゃれは楽しめるもの。少しずつお店の名前を広め、皆さんを笑顔に出来たら幸せですね」。

活用事例

秋田県よろず支援拠点

売上拡大、経営改善など経営上のあらゆる悩みの相談に対応。
コーディネーターを中心とする専門スタッフが適切な解決方法を提案します。

お問い合わせ 秋田県よろず支援拠点 TEL.018-860-5605